



あじさいだより



鵜巣小学校 学校だより第10号 令和6年3月22日

《児童のみなさんへ》

令和6年1月1日、だれもが驚く新年の始まりでした。3学期に予定していた6年生を送る会や、いつも通りの卒業式はできませんでした。しかし、6校合同の輪島高校での生活や、他の地域の小学校で、別の学校の友だちと楽しそうにすごしているみなさんの笑顔を見たり、その様子を電話で聞いたりしました。日本中のたくさんの人が、能登を応援してくれています。そんな人々のやさしさや頑張りに感謝し、一日一日を大切にすごしていきましょう。

4月からは、一つ上の学年になります。春休み中に、「こんな〇年生になりたい。〇年生では、〇〇に挑戦したい」という自分の目標をもって、4月のスタートをきってください。

《保護者の皆様へ》

「子どもたちを喜ばせたい」という保護者の皆様の熱い思いと団結力に支えられた1年でした。未曾有の災害に見舞われ、3学期を本校でスタートすることは出来ませんでした。学校再開に向けた様々な提案や調査等へのご理解・ご協力、本当にありがとうございました。

4月からは新しい形での学校生活がスタートします。これまでとは違う大規模校での生活に、ご心配等もあるかと思いますが、子どもたちは大丈夫です。鵜巣小で生まれた優しさと思いやりがあれば、きっと上手くやっていけます。春休みを前に、子どもたちは、4月から始まる学校生活にワクワクドキドキしていることと思います。春休み中は、お子さんの話に耳を傾け、お子さんの気持ちに寄り添いながら、新学期に向けた準備を進めてくださるようお願いいたします。

《地域の皆様へ》

この一年、多方面からのご支援・ご協力をいただいたことに心より感謝申し上げます。鵜巣公民館の移転に伴い、共催での行事も増え、子どもたちの活躍の場が広がったことを大変嬉しく思います。子どもたちが元気いっぱい駆け回る姿や、無邪気に笑う姿は、我々大人に勇気と元気を与えてくれます。「子どもは地域の宝」ここ鵜巣小で育った子どもたちが、きっと輪島の未来を切り開いてくれると信じています。

鵜巣小学校 校長 滝井 篤子

◆4月の予定について…決定しているのは、4月8日(月)輪島消防署で入学式が行われることです。それ以外のことについては、随時テトルにてご連絡します。こまめに、テトル配信が届いていないかをご確認くださいようお願いいたします。

◆春季休業中の緊急連絡について……学校への連絡が必要な場合は、鵜巣小学校(Tel22-0404)までご連絡ください。職員が出勤しない日は、そのまま学校長の携帯に転送されます。大きなケガや事故、コロナやインフルエンザ等の感染についても、これまで同様、ご連絡をお願いいたします。

～全国から たくさんの応援メッセージが届けられています～

2024能登半島地震 「♥つなぐ双樹」について

岡山県瀬戸内市立牛窓東小学校児童一同

私たちが住んでいる牛窓地区は、海に面している立地で地震による津波の影響があるという環境が、今回地震と津波によって大きな被害があった能登半島と似ています。遠く離れた場所に住む私たちですが、同年代の小学生のみんなのために、何か力になれることがないか考えました。そこで牛窓東小学校児童会の運営委員会が「心つなぐプロジェクト」をスタートさせました。避難生活の中でも卒業式や入学式は何とか行われるのではないかと、それならばその会場に、遠くからあなたたちのことを思っていることを伝えたいと考えました。運営委員会が中心となって、図柄を考え、1年生から5年生が桜の花びらの色を一人一人が混ぜて作り、ゆっくり元気になってほしいという思いを込めて塗りました。また、6年生は四つ葉のクローバーをイメージした♥マークに、「まだ出会っていない未来の友人たちへ！」という言葉とローマ字で寄せ書きをし、空に向かって飛んでいく〇の形に「わたしたちは遠くからずっと思っています」というメッセージを書きました。そして、牛窓東小学校の卒業式・入学式も、対になる桜の木の飾りをつくりました。これからも、この対になる桜の木の飾りをつくったときの思いを持ち続けられるよう、入学してくる新入生にも伝え、将来、同じ学校や職場、能登半島で、岡山で、日本のどこかで出会うかもしれない未来の友人たちへ、わたしたちは遠くからずっとあなたたちのことを思っていきたいと思えます。この対になる桜の木を「♥つなぐ双樹」と名付け、牛窓東小学校で大切にしていきたいと思えます。



この度の異動で、4名の教職員が鶴巣小学校を離れることになりました。

好奇心旺盛な子どもたちと4年間過ごすことができ、とても楽しかったです。これからもみなさんの健やかな成長を心から願っています。保護者の皆さんにはたくさん助けていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。 枳穀 澄子(門前東小学校へ)

2年間お世話になりました。ずっと鶴巣にいた気がするほど、保護者や地域の皆さんにあたたかく支えていただきました。本当に感謝しています。大変な状況の中の新学期になりそうですが、いつも鶴巣小の子どもたちの活躍を応援しています。 大谷 一美(鶴川小学校へ)

1年という短い間でしたが、たくさんの思い出をいただきました。地震があっても、子どもたちの笑顔や元気な姿を見ると、自分まで元気になりました。保護者の皆さんにはたくさんのご支援をいただきました。ありがとうございました。 大庭 タ(三崎中学校へ)

子どもたちを学校だけの座学だけではなく、地域の人たちと共に育てていることがとても印象に残っています。このような学校に勤めることができ、とても充実した日々を送らせてもらい感謝しております。ありがとうございました。 能門 貞直

校長として4年間勤めさせていただきました。小規模校であるが故に、子どもと子ども、子どもと職員、学校と地域・保護者が共につながり、子どもたちの成長を育むことができました。新年度は、これまでとは違った学校生活が始まることとなりますが、児童一人一人が、自分らしさを失わず、自分の良さを十分発揮できるよう願っています。私は、校長職を退き、4月からは、鶴巣小の一教諭として、子どもたちの成長を後押ししていきます。今後ともよろしく願いいたします。 滝井 篤子

